

2024

令和6年1月18日

第55号

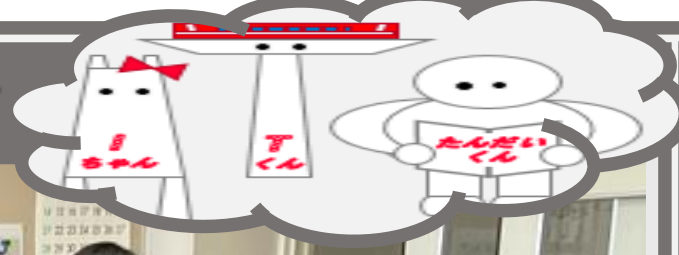
(通算101号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

# IT短大VIEW!



## 1 ITを活かした防災を検討



↑ 協議内容をボードにまとめ発表する学生

1月5日(金)、新春の授業スタートで、新聞(1月3日付け)の読み比べと気になる記事の協議を行いました。学生たちは、トップ記事となっている能登地震と航空機衝突事故の記事を読み込み、IT技術者の視点で、今後の対応策を協議しました。

【能登地震】◎AIドローンによる物資搬送。

◎人工衛星の早期活用(NTN:非地上系ネットワーク)。ほか

【航空機衝突事故】◎管制塔との確認事項を双方画面で確認できるシステム。◎滑走路をAIカメラで全面監視するシステム。ほか

学生は、この記事からも、防災・減災、事故の未然防止に向けて、IT技術者の果たす役割は大きいと感じていました。



↑ グループで新聞記事読み込む学生

## 3 新春の常澄駅



2024年、新年を迎え、新たな気づきと、ITの専門力を活かし明るい未来の開拓者を目指して

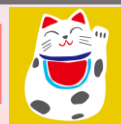


常澄駅から南を眺めると、白いダイダラボウと、遠くには筑波山を見ることが出来ます。



## 2 学生を支援する教師陣

### 新春インタビュー



本校の「ヒューマンインプルーブ」授業を担当する伊藤やすお先生と中村友美先生(一般社団法人日本ハピラボ協会)にインタビューさせていただきました。学生達は、ITの専門力に加え、「人との繋がり」と絆を大切にする「生き方」も学んでいます。

Q1 学生に学ばせたいことはどんなことですか?

A1 私たちが目指す教育は、学生が単なる知識だけでなく、真の社会人としての基礎力を身に付けることです。

この授業では、社会人としてのマナーや態度、コミュニケーション能力、そしてメンタルタフネスを心理学の視点も含め教えています。

Q2 学生の雰囲気は如何ですか?

A2 素直な学生が多いなと思います。そして、学生同士が仲が良く和気藹藹とした雰囲気が印象的です。

伊藤やすお先生、中村友美先生

Q3 新年を迎え、学生の皆さんへのアドバイスをお願いします。

A3 2月まで残りわずかとなりました。皆さんと学ぶ時間を大切にしながら皆さんの未来に活かせるようしっかり伝えていきます。楽しく学んでいきましょう。



ITから  
創造した  
未来へ



茨城県立産業技術短期大学校

URL <http://www.ibaraki-it.ac.jp/> E-mail: [kyoumu@ibaraki-it.ac.jp](mailto:kyoumu@ibaraki-it.ac.jp)

〒311-1131  
茨城県水戸市下大野町6342  
電話029-269-5500

